

平成 22 年 11 月 17 日

日米医学協力研究会 寄生虫疾患専門部会
第 45 回日米合同会議のご案内
(The 45th U.S.-Japan Joint Conference on Parasitic Diseases
U.S.-Japan Cooperative Medical Science Program)

日米医学協力研究会
寄生虫疾患専門部会
部会員、研究員、共同研究員 各位

部会長 平山謙二
長崎大学熱帯医学研究所 教授

前略

先生方におかれましては益々ご清栄にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

さて、今年度の日米医学協力研究会合同会議を開催する運びとなりました。

アメリカからはパネルメンバーなどが参加・発表されます。更に、多数のアジアからの招待講演者が参加・発表を予定しています。

ご存じの通り、この部会のテーマは、マラリア、住血吸虫症、腸管寄生原虫、昆虫媒介寄生虫（フィラリア、リーシュマニア、シャーガス、アフリカトリパノソーマなど）、ベクター生物学、新興・再興寄生虫感染症など主にアジアに蔓延する寄生虫疾患を広く対象としております。

関連領域の演題を幅広く募集いたしますので、奮ってご参加をお願い致します。

草々

記

●会場 国立感染症研究所 戸山庁舎（地図 <http://www.nih.go.jp/niid/welcome/maps-toya-j.html>）

●会期 2011年1月10日（月）—11日（火）、12日（水）（腸管原虫症サテライト会議）

懇親会は1月10日夜に感染研の周辺で予定しています。

●世話人 国立感染症研究所 寄生動物部 野崎智義、永宗喜三郎（事務局）

●参加申し込み方法 演題発表を希望される場合は、11月30日（火曜日）、発表無しで参加だけのご希望は12月24日（金）までに、以下の情報をメールにて国立感染症研究所寄生動物部・永宗喜三郎（nagamune@nih.go.jp）宛てにお送りください。

(1)お名前 (2)ご所属 (3)ご住所 (4)電話番号 (5)メールアドレス (6)発表の有無 (7)懇親会参加の有無 (9)旅費の支給の要望（以下「旅費の支給について」参照） (10)抄録

●抄録の提出について 発表者の先生の抄録締切は12月20日（月曜日）といたします。

抄録は国立感染症研究所寄生動物部永宗喜三郎（nagamune@nih.go.jp）宛にメールにてご提出ください（pdf形式で添付）。

※形式→添付のフォーマット参照のこと

●旅費の支給について

寄生虫部会の分担者（厚生労働省平山班分担研究者）におかれましては、先日長崎大学の経理から各分担者（各所属機関）に送金いたしました分担金を今回の合同会議の旅費に充当して下さい。寄生虫部会の分担者は、発表の有無を問わず旅費・宿泊費への利用が可能です。

分担研究者以外の研究者・研究協力者（大学院生、ポスドク等も含む）であっても、発表者には、長崎大学熱帯医学研究所(日米医学協力・寄生虫疾患部会事務局)から旅費・宿泊費の支給を致します。

但し人数に制限がありますので、早めの参加および抄録登録をお願いします。

以 上

30

Please submit your abstract by December 20 (Monday) to nagamune@nih.go.jp by e mail.

Abstract must be written in English, using Times font, on a single A4 page, and saved as pdf file.

Example:

Novel mechanism of mitochondrial (mitosomal) transport
in the anaerobic enteric protozoon *Entamoeba histolytica*

Takashi MAKIUCHI¹, Fumika MI-ICHI^{1,2}, and Tomo NOZAKI^{1,3}

¹ Department of Parasitology, National Institute of Infectious Diseases, Japan

² Division of Molecular and Cellular Immunoscience, Department of Biomolecular Sciences, Saga University, Japan

³ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, Japan

Mitochondrion-related organelles, mitosomes and hydrogenosomes, are found in a phylogenetically broad range of organisms. Their components and functions are highly diverse. We have previously shown that mitosomes of the anaerobic/microaerophilic intestinal protozoan parasite *Entamoeba histolytica* have uniquely evolved and compartmentalize a sulfate activation pathway, which is unprecedented. Although this major mitosome-confined metabolic pathway of *E. histolytica* mitosomes has been demonstrated (1), their physiological role and transport mechanism remain unknown. In this study, we examined the phenotypes caused by suppression of genes described hereinbefore, and showed that

Reference:

1. Mi-ichi et al., *Proc Natl Acad Sci USA*, 106, 21731–21736, 2009.